

焼津商工会議所経営発達支援計画事業「評価委員会」評価・検証総括表(令和1年度)

委員評価基準 A:目標に達している、事業成果が認められる B:目標に達しているが成果としては向上の余地がある C:目標・成果ともに更なる向上を期待する
D:目標達成のための改善が必要 E:事業の見直しまたは、廃止

項目	No	事業名	目標	実績	委員評価					総合評価	改善案・提言など
					1	2	3	4	5		
地域の経済動向調査に関すること	I-1	①志太地区内経済状況の分析回数	4	4	A	A	A	B	A	A	目標値に達したことは評価できる。
	I-1	②LOBO対象件数	18	18	A	A	A	B	A	A	目標値に達したことは評価できる。
	I-1	①②の調査結果の開示回数	16	16	A	A	A	B	A	A	目標値に達したことは評価できる。
	I-1	個人事業者の財務状況実態調査実施回数	1	1	A	A	A	B	A	A	目標値に達したことは評価できる。
	I-1	個人事業者の財務状況実態調査実施事業者数	150	147	A	C	A	C	C	C	個人青色申告事業所数は何先か、分母数によってはさらなる向上を期待する。 目標値に達したことは評価できる。 会計ソフトによる記帳及び決算書作成を指導し、事業者自ら確定申告ができることが理想であり、目標件数には達していないが、事業成果としては達成できている。
I-1	個人事業者の財務状況実態調査結果のHP等での公表回数	1	1	A	A	A	B	A	A	目標値に達したことは評価できる。	
経営状況の分析に関すること	I-2	経営状況分析事業者数	15	36	A	A	A	A	A	A	調査対象の事業者数が、2018年度14社から2019年度36社へと大幅に増加。その努力は評価できる。 小規模事業者が自社の経営状況の分析結果を把握することは大変重要なことであり、多くの事業者がその重要性を認識できるよう引き続き指導をお願いしたい。
	I-2	その他の経営状況分析事業者数 経営革新、マルケイ融資、小規模向け補助金、創業、事業承継支援による経営状況分析者数	60	63	A	A	A	A	A	A	そのほかの経営分析企業数も、2018年19社から2019年度63社へと大きく増加した。その努力は評価できる。

事業計画策定支援に関すること	I-3	事業計画の策定企業数	5	24	A	A	A	A	A	A	2018年度18社から2019年度24社へと増加。その努力は評価できる。 今後の事業の計画を、より実効性のあるものとして具体化する取組は、持続的経営を図る上で必要不可欠なものであると考えるため、引き続き多くの事業者への働きかけを行っていただきたいと思います。
	I-3	その他事業計画策定企業数 経営革新計画、マルケイ融資、小規模向け補助金、創業、事業承継に係る事業計画の策定	40	68	A	A	A	A	A	A	2018年34社から2019年度68社へと大きく増加した。その努力は評価できる。 今後の事業の計画を、より実効性のあるものとして具体化する取組は、持続的経営を図る上で必要不可欠なものであると考えるため、引き続き多くの事業者への働きかけを行っていただきたいと思います。
事業計画策定後の実施支援に関すること	I-4	フォローアップ支援企業数	5	14	A	A	A	A	A	A	目標値を大きく上回ったことは評価できる。
	I-4	フォローアップ支援回数	30	18	C	D	A	C	C	C	事業計画策定時に中期目標(2~3年)を支援することで会員への支援になると考えるが、支援対象が単年度で終了したということだが、ほぼ目標値に到達したことは評価できる。 フォローアップは、事業の効果の定着・発展を図る上では、有効なものとするため、単年度の事業が終了した後も、その後の取組状況をフォローアップするなど、対象を拡大するなどの取組は検討できないでしょうか。 対象の拡大が適当でないという場合には、フォローアップの取組に係る評価指標を見直すことも考えられないでしょうか。 事業計画の実現に向けて、フォローアップ支援は重要である。定期的にフォローアップ支援を行うことで、目標数値の達成に努める。
	I-4	マル経・補助金等に係るフォローアップ支援企業数	40	30	C	D	B	C	C	C	マル経の申込件数減少が主因と思いますが、補助金、マル経のPRを積極的に行う。 上記と同様、支援対象が単年度で終了したということで目標達成には届いていない。 フォローアップは、事業の効果の定着・発展を図る上では、有効なものとするため、単年度の事業が終了した後も、その後の取組状況をフォローアップするなど、対象を拡大するなどの取組は検討できないでしょうか。 対象の拡大が適当でないという場合には、フォローアップの取組に係る評価指標を見直すことも考えられないでしょうか。 事業計画の実現に向けて、フォローアップ支援は重要である。定期的にフォローアップ支援を行うことで、目標数値の達成に努める。
需要動向調査に関すること	I-5	消費者需要動向調査商品数	3	3	A	A	A	B	A	A	目標値に到達したことは評価できる。
	I-5	消費者需要動向調査依頼者数	100	834	A	A	A	A	A	A	目標値に到達したことは評価できる。
	I-5	商談会参加企業数	3	6	A	A	A	A	A	A	目標値に到達したことは評価できる。
	I-5	バイヤーアンケート調査数	3社 20人	6社 127人	A	A	A	A	A	A	目標値に到達したことは評価できる。

新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	I-6	商談会参加事業者数	10	7	C	D	B	C	C	C	<p>焼津水産ブランド商品先への参加を積極的に依頼。1ブースで何社かでの合同参加(水産ブランド商品で)ほぼ目標値に到達した。</p> <p>商談会の参加は、販路拡大の機会を単独では確保しにくい小規模事業者にとって有用なものであるため、積極的な参加を促すとともに、事業者にとって参加しやすいよう工夫できる余地があれば、検討をお願いしたいと思います。また、食品産業事業者のみを対象とする目標としている点について、事業者のニーズと乖離が生じているということであれば、目標の見直しも含めて検討してはどうかと思います。</p> <p>参加事業者数は、目標に達していないが、商談件数及び成約件数で成果が出ていることから、評価できる。商談会への参加の呼びかけを丁寧に行う。</p>
	I-6	上記商談件数	15	49	A	A	A	A	A	A	<p>目標値を大きく上回ったことは評価できる。</p>
	I-6	上記商談のうち成約件数	5	11	A	A	A	A	A	A	<p>目標値を大きく上回ったことは評価できる。</p>
	I-6	ザ・ビジネスモールへの登録企業数(累計)	40	123	A	A	A	A	A	A	<p>目標値を大きく上回ったことは評価できる。</p>
	I-6	上記商談成約件数(単年度)	2	0	C	D	D	C	C	C	<p>成約に至らなかったとはいえ、商談が開始されたことは大きな成果であったと思います。</p> <p>他の商工会議所で商談成約事例があれば、成約情報を収集し、今後の商談参加者に生かしていけないか。</p> <p>商談成立に向けたアプローチを再設計したほうが良いかも知れません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症を踏まえて示された新しい生活様式を踏まえれば、ネット上で商談ができるサービスであるザ・ビジネスモールは、単に遠隔地の企業と商談ができるという以上の価値を持っていると考えられるため、この機に会員にも積極的な活用を促していただきたいと思えます。</p>
	I-6	事前対策セミナー実施回数	1	5	A	A	A	A	A	A	<p>目標値を大きく上回ったことは評価できる。</p>
	I-6	事前対策セミナー参加企業数	12	20	A	A	A	A	A	A	<p>目標値を大きく上回ったことは評価できる。</p>
	I-6	個別相談会参加企業数	6	10	A	A	A	A	A	A	<p>目標値を大きく上回ったことは評価できる。</p>
I-6	情報発信実施回数(巡回除く)	12	44	A	A	A	A	A	A	<p>目標値を大きく上回ったことは評価できる。</p>	

地域経済の活性化に資する取組	Ⅱ	①焼津みなとまつり実行委員会	A	A	A	A	A	A	焼津市内における様々な機関を統合する「オール焼津」の組織において、必要な情報共有や調整機能を果たし、合理的且つ効率的な事業運営が行われている。 実施に向けての苦労は多い事とは思いますが、今後も焼津市の産業をPRすることのできる取組としていただければと思います。 焼津市を代表する春のイベントとして市民だけでなく市外からも多くの来客がある。焼津の魅力を知っていただく機会を提供している。
	Ⅱ	②焼津市水産業クラスター協議会	A	A	A	A	A	A	焼津市内における様々な機関を統合する「オール焼津」の組織において、必要な情報共有や調整機能を果たし、合理的且つ効率的な事業運営が行われている。 引き続き本事業を通じて、焼津ブランドを更に県内外に発信し、販路拡大に繋げていただくことを期待しています。 認定企業が積極的にブランドシールを商品に貼ってくれるようになり、販促効果があがっているように思う。引き続き販路拡大、PR活動の充実に期待する。
	Ⅱ	③中心市街地活性化推進会議	A	A	A	A	B	A	関係する連携組織によって、合理的且つ効率的な事業運営が行われている。 中心市街地の活性化は、市全体で一丸となって進めていく必要があるものであるため、引き続き、持続的に発展するまちづくりに向け、民間の知見・アイデアを発信いただきたいと思います。 焼津駅南口の再開発準備組合の設立や駅前通りに3丁目ガーデンに店舗がオープンするなど、少しずつではあるが動き始めている。市役所新庁舎やこども館の建設工事が牽引となって、さらに中心市街地の活性化が進むことが期待される。

Ⅲ-1	他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事								
	①志太3市商工会議所・商工会広域連携相談事業	A	A	A	B	A	A	近隣の商工会議所及び商工会との連携、並びに主な金融機関との連携を通じて、必要な情報共有や調整機能が果たされている。 他の支援機関とは日頃から連携を密にし、きめ細やかな事業者への支援を行えるよう、引き続き情報交換を行っていただきたいと思います。	
	②日本政策金融公庫との情報交換会	A	A	A	B	A	A		
	③静岡県信用保証協会との情報交換会	A	A	A	B	A	A		

Ⅲ-2	経営指導員等の資質向上等に関する事								
	①静岡県商工会議所連合会が実施する必須研修（経営指導員・補助員・記帳専任職員）への参加。	A	A	A	B	A	A	今後参加予定の研修会についても、参加と情報共有を行ない、職員全体の資質向上を期待致します。	
	②中小企業大学校が開催する研修会に参加します。	A	A	A	B	A	A	経営指導員の資質向上のため、様々な研修活動を施しており、その成果の共有も組織レベルで執り行われ、運営においても工夫がみられます。	
	③日本商工会議所が開催する一般職員、経営指導員向けの研修会に参加します。	A	A	A	B	A	A	事業者への支援・指導は、経営指導員の資質等に大きく左右されるため、今後も積極的な研修への参加等を行い資質向上に努めていただきたいと思います。	
	④各支援機関が主催する勉強会、情報交換会に参加します。	A	A	A	B	A	A		

<p style="text-align: center;">全体評価</p>	<p style="text-align: center;">課題・目標と事業の整合性・連動性など総括コメント</p>								A	<p>設定目標に対し、きめ細かく調査・分析され、ほとんどの項目において着実に目標をクリアしていると思います。経済情勢の変化や消費者ニーズの変化にも目を配り、柔軟かつ速やかに対応しながら、引き続き事業を推進して頂きたいと思います。</p> <p>目標項目が全体で26項目、目標達成項目が21項目(80.7%)、全体としてはA評価に値すると考える。目標未達の項目については、各事業所の向上のため支援策の改善を検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と同様に、本事業を評価するにあたり、対象企業の具体的なイメージを持つことが出来なかった点を課題として挙げる。例えば、小規模事業者とは、具体的にどのような業種を指しているのか。業種ごとに置かれるPLC(Product Life Cycle)は異なるため、総合的な共同事業の提案は難しい。勿論、商工会議所側で個別フォローをしているということは、その配慮が施されていることは推測できるが、対象企業の業種別構成割合は資料の提示が望ましい。 ・本年度も昨年同様、マーケットリサーチに力点が置かれている。インターネットによる東京圏の消費者調査、川崎市のローカルチェーン経営者、バイヤーの意向調査等多岐にわたっている。ターゲットと流通チャネルの流れが整理できると、さらに現実味が増し理解されやすい。是非今後はチャネル戦略の構造把握に期待する。 ・一つのアイデアとして、焼津商工会議所が東京圏の小売店へ、戦略イメージを提案するという事も考えられる。つまり東京圏の小売店に対する戦略提案を焼津商工会議所が行うということである。焼津は既にブランド力を持っており、東京圏の消費者も焼津というキーワードからマグロやカツオといった遠洋漁業を連想する。小売店側からすると、消費者への訴求が容易である。昨年と同様の意見ではあるが、将来の環境変化(5～10年先)を読み取り、それに対応した競合地域(函館や気仙沼など)のブランドデザインを読み取り、それら競合条件の中で焼津ブランドが優位性を持つコンセプトを探し出し、東京圏の小売店に提案するという事である。例えば、「超高齢社会と少子化がますます進み、健康志向や質のこだわりが期待される中、伝統的な魚加工技術に裏付けられた焼津独自の食文化を召し上がってもらおう」などとすれば、商品開発、販売経路、イベント、情報発信など、様々な取り組みで、より顧客に接近することができる。消費者モニター調査やバイヤー調査に至っても、意味合いが変わることが理解できよう。 ・2018年度より岩本研究室は、NEXCO中日本との連携事業を通じて、焼津地区の地域活性化モデルの開発を進めている。既に全体構造は出来上がり、2020年度は内容の充実とエリア拡大に向けた連携を構築する計画である。またこの活動は、焼津市、焼津商工会議所、大井川商工会との情報交換や調整が不可欠である。「Ⅱ.地域経済の活性化に資する取組」に加えて頂けると更に良いと思う。 <p>●最後にコロナウイルスが与える業界インパクトとその対応に関して、議論を深めることが望まれる。私の専門とする研究分野は「流通システム論」だが、その観点から今後の変化を読み取れば、社会における流通機能(商流、物流、情報流など)は変わらないが、その機能を担う流通主体(製造業、卸売業、物流業、小売業など)はコロナウイルス対策に順応し合理性効率性を得た企業だけが生き残ることになると予測している。勉強会などを企画し、産業界の皆さんと意見交換ができると有意義であろう。</p> <p>小規模事業者への支援として、各種事業に適切に取り組んでいただいていると考えますが、事業計画のフォローアップ支援など、個別の対応については、やや改善の余地があるように思います。また、商談会などの新たな需要の開拓に寄与する事業については、各事業者の取組や、個々の商取引に依拠する点が多いものの、事業者の参加等を積極的に促進するとともに、実現性のある商談となるよう、引き続き、支援に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>また、地域経済の活性化に資する取組として、みなとまつりや水産業クラスター協議会、中心市街地活性化推進会議などに主体的に取り組んでおり、焼津市の活性化に必要不可欠な重要な役割を果たしていただいていると考えています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、個々の事業者の取組のみでは、事業の継続・発展に当たって厳しい局面も生じてくることが予想されるため、会員企業の発展・地域の活性化のために、引き続き中核となる取組を期待します。</p> <p>事業計画策定後のフォローアップ支援や商談会参加事業者数など一部で目標を達成できていない事業はあるが、経営状況の分析や事業計画策定支援、商談実績など成果を上げていることから、小規模事業者への伴走型支援として評価できる。小規模事業者に対して支援を続けることで、経営者の意識改革にも繋がっていくことに期待する。</p>
---	---	--	--	--	--	--	--	--	---	--